

# 精神科認定看護師を



## 知っていますか

01  
すぐれた看護実践能力を用いて、  
質の高い精神科看護を実践すること



02  
精神科看護に関する  
相談に応じること



03  
精神科看護に関する  
指導を行うこと



04  
精神科看護に関する  
知識の発展に貢献すること



精神科  
認定看護師の  
役割

令和7(2025)年度改正の  
精神科認定看護師制度を紹介します！

受講資格審査の出願要件

看護師免許取得後5年以上

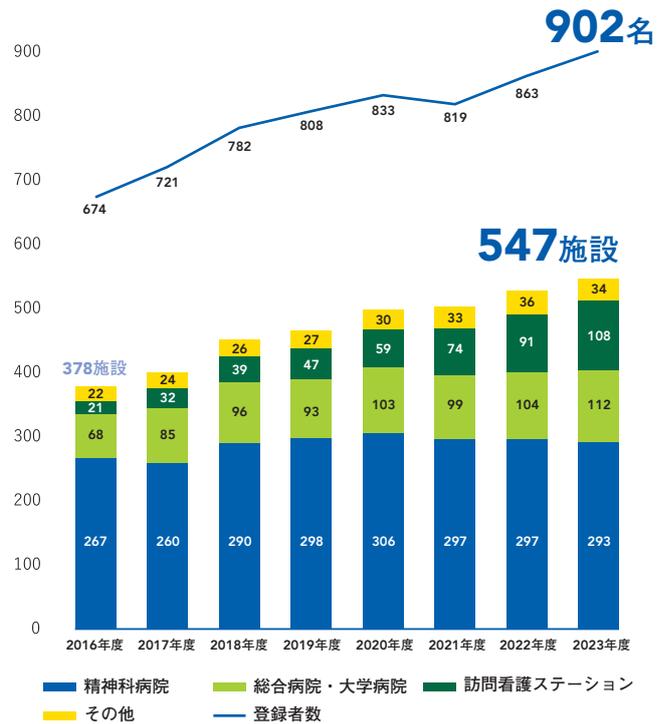
精神科看護経験3年以上

## 精神科認定看護師が増えている理由

「いいケアをしたいけど、何かが足りない」「行き詰りを感じる」「根拠のある看護をしたい」など、看護の現場をより良くしたい。その思いをきっかけに、精神科認定看護師をめざす方が増えています。精神科認定看護師は、「質の高い看護実践」「相談」「指導」「知識の発展」の4つの役割を担っています。これらの役割を発揮して現場の課題を解決していきます。最近では、精神科認定看護師を養成する施設が増加し、精神科認定看護師が活躍する場も広がっています。



精神科認定看護師の役割



## 資格をとると…

### 臨床推論を活用した心身両面へのアプローチ

臨床推論の知識は、身体合併症の早期発見や予防に役立ちます。精神科認定看護師は、対象者のこころと体の状態をふまえた包括的なアセスメントに基づいて質の高い実践を行います。

### 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムへ参画できる看護実践力

精神科認定看護師は、入院医療や地域生活を支援するための知識や看護を学び、多職種連携を推進します。多様な課題をもつ対象者へのケアに関係者と連携しながら実践します。

### 精神科認定看護師が算定要件に含まれる診療報酬

- 療養生活継続支援加算
- 認知症ケア加算
- 精神科リエゾンチーム加算
- 機能強化型訪問看護管理療養費

## 精神科認定看護師制度の概要



精神科認定看護師教育課程には、受講の要件があります。受講資格審査に合格すると、教育課程を受講できます。教育課程の修了試験・認定試験に合格後、精神科認定看護師として登録されます。資格は5年毎の更新制で、所定の実績が必要です。



# 多彩な学習方法で必要な知識を効果的に学ぶ

教育課程は、4月に開講し、共通科目、認定科目、演習・実習の順に学びます。オンデマンド配信やライブ配信は、自宅や職場で受講できます。学んだことを現場で実践しながら、知識と経験を統合していきます。

## 受講の概要

修業年限：原則として1年

総時間数：770時間

費用：約87万円

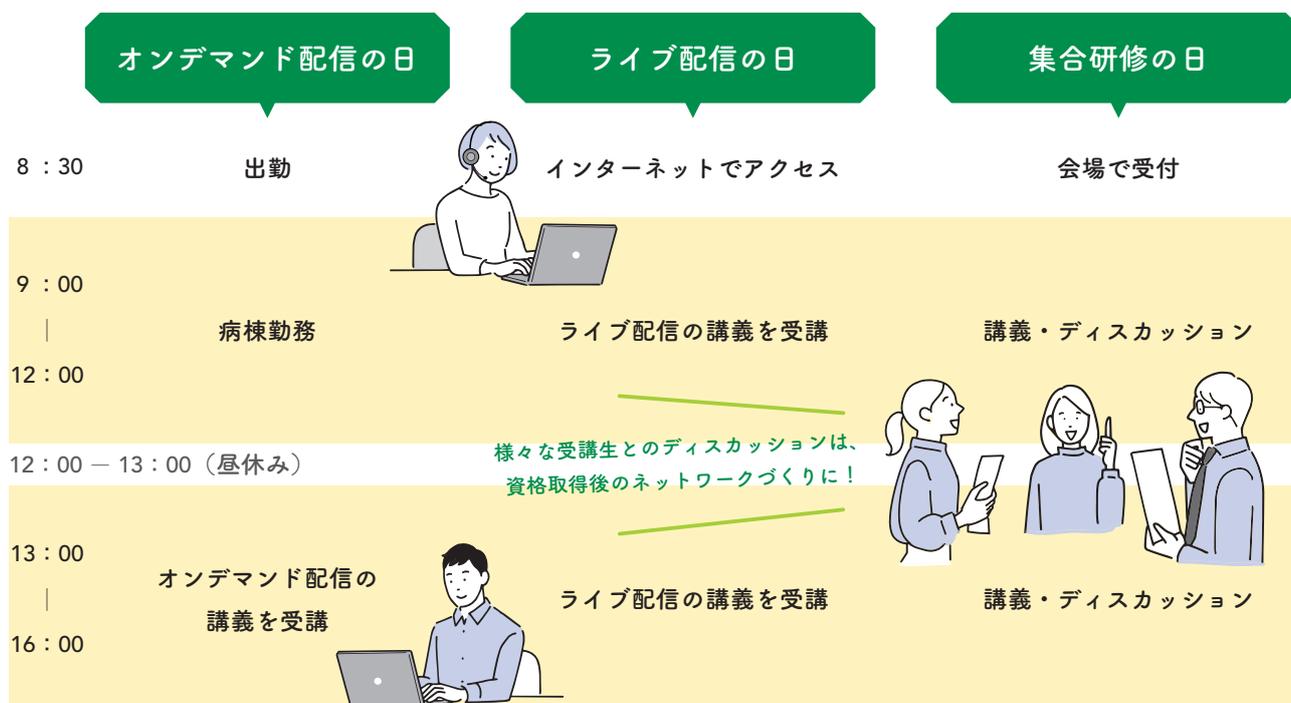
### 共通科目・認定科目の開催方法

- └ オンデマンド配信、ライブ配信、集合研修
- 演習・実習
- └ 協会指定実習施設、自施設で実施



注：本教育課程の受講のみでは特定行為研修修了者にはなりません

## 1日のスケジュールの例



オンデマンド配信：指定された期間内に、1日3時間程度、講義の動画を視聴

ライブ配信：指定された日（基本的に9時～16時）にオンライン会議システムで受講

集合研修：指定された日（基本的に9時～16時）に協会事務局内の東京研修会場で受講（最寄駅：品川駅）

## CFN 資格取得をめざしていませんか

**情報収集** あなたがめざす精神科認定看護師をイメージしましょう  
準備や費用などの詳しい情報は右側の二次元コードからマナブル<sup>®</sup>にアクセス

**相談** 仕事を続けながら受講するために、職場での勤務調整は必須です  
上司や管理者に相談して1日のスケジュールを参考に、無理のないスケジュールで学習時間を確保しましょう



※利用にはマナブルの登録が必要です



## 木戸 芳史

浜松医科大学医学部看護学科  
精神看護学 教授  
(日本精神科看護協会 業務  
執行理事/教育認定委員長)



## 眞鍋 信一

社会医療法人 北斗会さわ病院  
看護部長  
(日本精神科看護協会 理事)



## 淡地 晴日

医療法人徳洲会横浜日野病院  
(精神科認定看護師、2023年  
登録)

## 精神科認定看護師への期待

1997年に第一号を輩出した精神科認定看護師は、2023年度には902名となり、4つの役割（実践、相談、指導、知識の発展）をさまざまな場所で発揮しています。27年の歴史の中で、精神科看護を取り巻く状況は常に大きく揺れ動き続けてきましたが、近年では精神科認定看護師の活躍が社会的に評価され、関連する診療報酬の算定が増えてきました。精神科認定看護師をめざすあなたには、「この訪問看護ステーションには精神科認定看護師がいるから、私らしい暮らしを支えてくれるに違いない」、「精神科認定看護師のいる病院だから、安心して治療を受けられる」、そんな期待に応えることができる存在になって欲しいと思っています。

## 組織が抱える課題解決にむけて

当院には複数名の精神科認定看護師が在籍しています。精神科認定看護師たちが担う4つの役割にとどまらず、組織が抱える様々な課題を調査、分析、課題を特定し、課題克服のための提案という活動にも大きく関与することを期待しています。

そのような期待を自覚し懸命に活動してくれている精神科認定看護師たちの姿を見るたびに、頼もしく思うと共に感謝の気持ちでいっぱいになります。それと同時に精神科認定看護師たちが力を発揮できる組織づくりの責任をひしひしと感じます。

私たちが立つこの足元を力強く固めてくれる存在が精神科認定看護師だと思います。自信と誇りと気概を持って存分に力を発揮して欲しいと思います。

## 知識や技術の裏づけをもった実践の積み上げ

私は、20代で精神科認定看護師の資格を取得しました。資格を早く取得することで知識や技術の裏づけをもった実践を長期的に積み上げることができるようになります。教育課程では、「対象者を全人的に捉え、連続性のある看護」を実現することを学びました。そこで、意識的に患者さんとの対話の時間を設けています。その過程で得た支援の鍵となる情報や、アプローチの仕方をスタッフと共有しています。また、院内研修では、スタッフの教育ニーズを確認し、精神疾患別の看護や向精神薬等をテーマに研修を行いました。

受講生は全国から経験も知識も豊富な方が集まり、緊張や自身の未熟さを感じる場面は多々ありました。その中で得た経験は私の大きな財産となっています。

今後も自己研鑽に励みつつ、当院の看護実践や教育の質の向上に努めていきたいと思っています。

一般社団法人 日本精神科看護協会  
Japanese Psychiatric Nurses Association

〒108-0075  
東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F  
TEL : 03-5796-7033 (平日 8:00~17:00)

活動理念 ころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくります。

日精看オンライン  
<https://jpna.jp/>



このパンフレットは、2024年3月の情報をもとに制作しています。